

## 西暦

## 和暦

## 津田青楓 年表

1880年	明治13年	京都市上京区（現中京区）に生まれる
1898年	明治31年	京都市立染織学校速成科修了
1903年	明治36年	京都高島屋図案部に勤務
1904年	明治37年	兄が図案雑誌「小美術」を出版。編集を担当する 日露戦争で召集され、衛生兵として203高地などを転戦
1907年	明治40年	農商務省海外実業練習生に合格。フランスに留学
1911年	明治44年	東京市小石川区高田老松町（現文京区目白台）に移転 夏目漱石宅を訪問
1913年	大正2年	青楓図案社を創立
1914年	大正3年	二科会を結成
1918年	大正7年	この頃から日本画も手掛ける
1923年	大正12年	関東大震災の混乱から逃れるため京都に帰る 河上肇を訪問
1926年	大正15年	津田青楓洋画塾を開塾
1930年	昭和5年	東京府豊多摩郡杉並町天沼（現杉並区天沼）に移転
1931年	昭和6年	ソブエト友の会発起人となる
1933年	昭和8年	連行され留置される。転向を表明、釈放される 二科会を脱会する
1934年	昭和9年	近所に移転。「墨荘」と名付ける
1937年	昭和12年	墨人会倶楽部を結成
1944年	昭和19年	茨城県小田村（現つくば市）に疎開
1946年	昭和21年	日本美術会創立発起人となる
1947年	昭和22年	東京都杉並区上高井戸（現杉並区高井戸西）に移転
1950年	昭和25年	白日会展覧会に賛助出品として「犠牲者」出品
1963年	昭和38年	自叙伝『老画家の一生』出版
1964年	昭和39年	弟子たち（木風会）の展覧会に出品
1966年	昭和41年	「画業70年記念津田青楓日本画展」開催
1967年	昭和42年	「津田青楓米寿記念展」開催
1969年	昭和44年	「人権は守られてきたか」展に「犠牲者」出品
1974年	昭和49年	「津田青楓忘れ得ぬ人たち春風秋雨96年展」開催 青楓美術館開館
1975年	昭和50年	「富嶽百景展」開催
1977年	昭和52年	「津田青楓白寿展」開催
1978年	昭和53年	老衰のため死去

参考：『生誕一四〇年記念 背く画家 津田青楓とあゆむ明治・大正・昭和』収録「津田青楓年譜」（芸艸堂）  
『春秋九十五年』収録「自撰年譜」（求龍堂）